



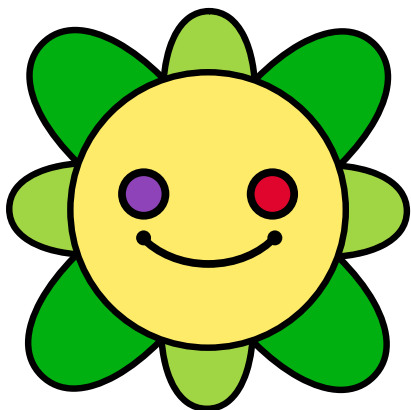
# Newsletter

発行者：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
電話：018-889-2260  
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

## シンボルマークが決定しました！



### 最優秀賞



#### ～作品のコンセプト～

「ふきのとうを上から見た図に表情をつけたマークです。表情の目にあたる部分については、右は赤色で女性を、左は青色で男性を表現しています。口は男性・女性を結び、地位の平等・同等を意味しています。また、笑顔の表情であることは、男女平等によって生まれるものという願いを表現しています。」

#### みなさま、たくさんのご応募ありがとうございました

男女共同参画推進室コロコニでは、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「大学間連携と女性研究者支援in秋田」の一環として学部学生・大学院生を対象にシンボルマークを募集しました。その結果、最優秀賞1名と優秀賞2名が選ばれ、表彰式が6月14日インフォメーションセンターで行われました。

学生対象のシンボルマークの募集は学生に対する男女共同参画の意識啓発として最大のアピールとなると考え延べ1000枚の募集案内を配布し、教育文化学部・医学部・工学資源学部の全学部から延べ18点の作品の応募をいただきました。

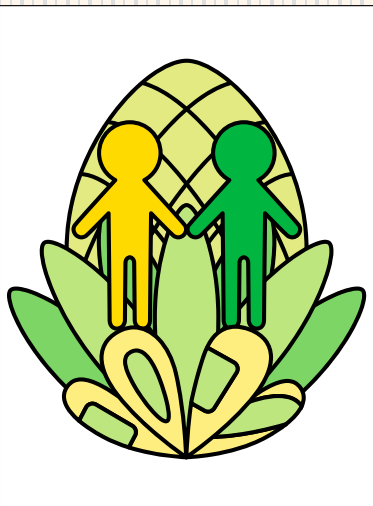
最優秀賞作品は、男女共同参画推進室で発行する各種刊物、広告、ホームページ等幅広く使われることになっています。



教育文化学部3年  
大貫 耕内さん

「まさか自分が最優秀賞に選ばれるとは思わず、とても嬉しいです！これをきっかけに秋田大学の学生が男女共同参画について活発に考える機会になればいいと思います。」

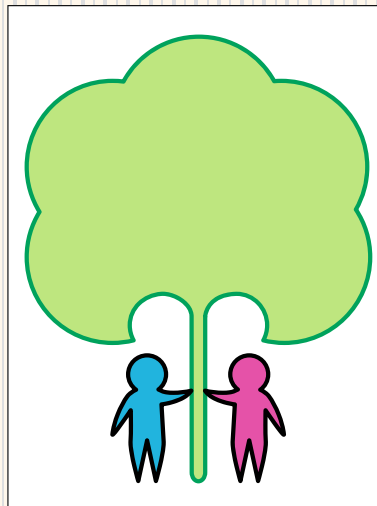
## 優 秀 賞



工学資源学部3年  
小林 奈緒美さん

#### ～作品のコンセプト～

「ふきのとうをベースにし、色も黄緑色に統一しました。中心のシルエットは、固定概念にとらわれることなく、どの人もたくさんの人に接するように願いながら描き、色はふきのとうベースであることと、男女のイメージを感じにくいことから、黄色と緑色に着色しました。さらに葉の部分には、「コロコニ」の文字を配置しています。」



医学部3年  
漆畑 宗介さん

#### ～作品のコンセプト～

「コロコニという名前にちなんで“ふき”をイメージしました。“ふきのとう”である“コロコニ”が大きく育って、社会を大きく包み込んで男女共同参画が進んで行ったらいいという願いが込められています。」

## 表彰式

6月14日  
インフォメーション  
センターにて



表彰式では、渡部育子男女共同参画推進室長から、最優秀賞の教育文化学部3年大貫耕内さんにパネル入り受賞作品と副賞（図書カード1万円分）が贈られました。また、優秀賞の医学部3年漆畑宗介さん、工学資源学部3年小林奈緒美さんにはパネル入り受賞作品と副賞（図書カード5千円分）がそれぞれ贈られました。

表彰式後は入賞者及び応募者のみなさんと交流会を行い、応募したきっかけや、作品のコンセプト、学生から見た男女共同参画などについて活発な意見交換を行いました。参加していただいた井上浩理事、奥山栄樹工学資源学部准教授からはご自身の体験談をお話いただき、学生たちとなごやかな会話を弾ませました。

今回応募された作品には、男女共同参画についての考えが切実に表現されており、シンボルマークを募集したことで学生のみなさんの「生の声」を聞く事ができたと思います。惜しくも入賞からもれた作品から一部抜粋して応募者の作品のコンセプトをご紹介します。

### 応募者の声

■最近男女が差別されているとはっきり感じることはありませんが、男女に関するイメージは、まだ少なからずあると思っています。男女には身体的な面で違いがあり、性別に限らず人はそれぞれ違いがあるので、そこは考慮する必要がありますが、だからといってその人の考えややりたいことを否定する理由にはならないと思います。

■形や大きさが異なるふきのとうであっても同じ水平の地に生きるふきのとうに優劣はないという意味を込めて描きました。それは、男女に身体的な差があるとしても人間として同じ地に立って生きるという意味においては何ら格差がないということです。

## お知らせ 講演会「北欧における女性の社会進出」を行います。

8月20日(金)17:00~18:00、秋田市民交流プラザ（アルヴェ）にて、「北欧における女性の社会進出」をテーマに「ノルウェーにおける男女共同参画」と題した講演会を行います。講師にはノルウェー王国北部にある Tromsø 大学附属病院からトーベ・スメスローさんをお招きし講演していただきます。トーベ氏は入院中の病児の教育、生活の世話（毎日を健康な子供のように自然に過ごせるように）にあたる仕事をしながら、家庭内ではパートナーの協力を得て2人の子どもを育て上げました。このような彼女の体験を基にして、北欧における女性の社会進出を、歴史・さまざまな取り組み・今後の課題も含めて講演していただきます。

（講演は英語で行われ、同時通訳が入ります）

詳細についてはコロコニホームページをご覧ください。



講師 トーベ・スメスロー氏  
Tromsø 大学医学部附属病院

## 室長からのメッセージ

この度、コロコニのシンボルマークを募集いたしましたところ、多くの学生の皆様が応募してくださいました。作品の説明も読ませていただきましたが、秋田大学への熱い思いと男女共同参画社会実現へ向けた意気込みが感じられました。

男女共同参画推進はまだ始まったばかりです。道のないところに道を拓く、大変でもあり楽しくもある事業です。試験の答案と違い、10人の人がいれば10通りの答案を用意しなければ、一人ひとり充実した人生を送ることができません。学生の皆様がこの難問を解くために素晴らしいアイデアを出してくださいましたことを、たいへん嬉しく思います。

コロコニのスタッフ一同、皆様方のご期待に応えるべく、よりいっそう参画室を発展させることをお約束させていただきますと存じます。

（室長：渡部 育子）

## 編集後記

シンボルマークを募集することが決まってから、いつ・どこで・どのようにアピールすれば学生たちに知ってもらえるか、試行錯誤しながら募集活動を行いました。学生に対しての意識啓発としては難しい話をしては始まらない、この企画に参加してもらえない！と鼻息荒く募集を呼びかけました。

最初はポツポツだった応募も締切り間近になるとどっと増え、学生たちの練りに練ったデザインにうれしい悲鳴を上げさせてもらいました。このデザインを様々なところで使わせていただくために今後も講演会、イベント等盛りだくさんで参りますのでよろしく願いいたします。（川村）